

## ソーシャル PM 実践ワークショップ 2019

### 第1回「ソーシャル・デザイン思考実践&アジャイル/リーンスタートアップ」実施報告

ソーシャル PM 研究会は社会課題の解決を目的とする活動（ソーシャル・プロジェクト）のマネジメント手法の開発・普及に取り組んでいます。その成果を基に2019年は計3回の「ソーシャルPM実践ワークショップ」の開催を予定しています。

今回は第1回として「ソーシャル・デザイン思考&アジャイル/リーンスタートアップ」を下記の通り開催しました。

- ◆開催日時：2019年2月23日（土）9時30分～17時30分
- ◆会場：PMI 日本支部セミナールーム（水天宮前）

「ソーシャル・デザイン思考」は「現状の社会の状況や人々の行動思考を観察/体験して問題の本質を洞察し、ソーシャル課題を再定義して仮説をつくり、プロトタイピングによる試行錯誤を繰り返してソーシャル課題解決に導くアプローチです。

今回はデザイン思考の「木を見て、森も見るためのフレームワーク」に則ったプロセスと手法を学び、ワークショップによりアジャイル/リーンスタートアップのプロセスと手法を参加者の方に体験していただきました。

午前は、研究会メンバーの石塚講師から「自分の意図を感じる」ことから出発するデザイン思考の概要説明の後、設定事例「肉親の遺品整理に直面する」ペルソナのカスタマージャーニーマップと3つのゴール（ライフゴール、エモーショナルゴール、エンドゴール）をグループで作成し、発表しました。



午後は、稲葉講師よりアジャイルの本質的価値、原則の説明とデザイン思考との関係、ビジョンの共有と実現のためのインセプションデッキ、そして事業立ち上げのためのリーンスタートアップとその事業計画書としての手法「リーンキャンパス」の作成についてなど広い範囲の知識の講義を受けました。

その後は小谷野講師よりリーンスタートアップの事例演習「綿衣類のリサイクル」の事業立ち上げを題材にしたグループ演習です。エレベーターピッチ、リーンキャンパスの作成によるビジネスモデルの作成、そしてこのモデルを事業立ち上げ後アジャイルによって改善していく演習を行い、各グループで発表しました。

ピボットによる改善案は、講師の想定以上にそれぞれユニークなビジネスモデルとなり、ダイバーシティの可能性の大きさを感じさせるものでした。

今回は、デザイン思考、アジャイル、リーンスタートアップという関係性が強いものながらそれぞれ深いテーマを1日で体験していただく、という盛りだくさんの内容になりましたが、参加者の方からは「体系的に説明され、消化不良は起こさなかった。」「他の人の意見・発表から気づきが得られた」というフィードバックもいただきました。

第2回は「ソーシャル・ステークホルダーマネジメント実践」です。今年から内容を一新したソーシャルPM研究会のワークショップは参加者のフィードバックなども参考にしながらブラッシュアップを続けてまいりますので皆様是非ともご参加ください。

ソーシャルPM研究会 普及活動WG 担当